

DCとはDefined Contributionの略=確定拠出年金のことです。

平成21年4月7日 NO.70

弊社でご加入等されている皆様には、「個人別管理資産額のお知らせ」が今月下旬以降、配布されます。どのような内容が掲載されているのか、また特に注目しておきたい箇所等を見ていきましょう。

個人別管理資産額のお知らせ

1. 「個人別管理資産額のお知らせ」とは

確定拠出年金の資産をお持ちの方には、記録関連運営管理機関（弊社であれば、日本レコード・キーピング・ネットワーク株式会社）を通して、「個人別管理資産額のお知らせ」がお手元に届きます。

「個人別管理資産額のお知らせ」は、法令の定めにより毎年少なくとも1回以上作成されるものです。弊社でご加入いただいている企業型及び個人型の加入者等には3月末を作成基準日とし、翌4月下旬頃より、順次発送されます。

「個人別管理資産額のお知らせ」には、その名の通り、作成基準日時点の、個人別管理資産額（＝各個人の年金資産残高）や、運用商品及びその割合、給付金額や制度移換金額、損益、預け替えの履歴などが掲載されています。普段、あまりご自身の資産状況を見ていない方でも、最低年に1度は、こうして書面でご自身の資産を確認する事ができる訳です。

2. 「個人別管理資産額のお知らせ」の見方

「個人別管理資産額のお知らせ」で一番注目したい箇所は、最初のページにある「現在の個人別管理資産額」でしょう。この額には運用損益が反映されているので、ご自身の、まさしく直近の年金資産残高と言えます。

次の段に、その個人別管理資産額の元金となった今までの掛金総額として「拠出金累計」が、そして、「その他（損益等）」の金額を±したものの

合計として、選択した商品の運用結果を反映した「個人別管理資産額」が、記載されています。

ところで、同じページ右下にある、<ご参考>の「資産評価額」と「個人別管理資産額」には違いがあります。保険等の商品を持っている場合の解約控除や、投資信託における信託財産留保額等を控除する前の額を「資産評価額」と言い、逆に商品を解約した場合の解約控除等を差し引いた後の額を、「個人別管理資産額」と言います。

難しい専門用語が並んでいて分からなくなったら、2ページ目に用語の説明が記載されていますので、そちらをご覧ください。

毎月のご自身が選択した商品、預け換えした商品の買い付けた数量、単価、受渡金額等の詳細は、3ページ以下に記載されています。

3. 運用を見直すきっかけに

「個人別管理資産額のお知らせ」がお手元に届いたのを機に、ご自身の資産残高の確認や選択している運用商品、また運用割合の見直し等、有効にご活用されてみてはいかがでしょうか。

【個人別管理資産額のお知らせ(見本)】

現在の個人別管理資産額、拠出金累計、その他(損益等)はココ

<ご参考> 資産評価額はココ